

令和3年度の学校教育目標に対する学校評価を以下のように進めた。 ①保護者アンケート（12月に実施） ③児童アンケート（12月に実施）

<b>学校教育目標</b>	◎かしこく あたたかく つよく	進んで取り組む子 仲良く助け合う子 健康でたくましい子	深く考え豊かに表現する子 全ての命を大切に 最後までやりぬく子	<b>重点目標</b> つよく 健康でたくましい子 最後までやりぬく子
---------------	-----------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

学校教育目標	中期的目標	短期的目標	具体的な方策	評価指標	達成状況		分析	改善策	学校関係者評価
					中間評価	最終評価			
かしこく	よさ、可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校	①基礎的・基本的な確かな学力の定着	ユニバーサルデザインの授業の推進	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は◎である。保護者の評価がである。	具体的な成果を積極的に伝えていく。	<p><b>項目ごとのご意見ではなく、総括的なご意見をいただいた。いただいたご意見の一部を掲載した。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケート結果から「目当てをもって」子どもは◎、保護者●となっている。めあてをたてる時間をとっているのか、もったことをお家と共有しているのか。保護者が知らないのだと思う。残念と思う。</li> <li>○「学校生活たのしい」「いいところがある」の項目では、学年ごとに違いがあるのでは。自己肯定感が低い児童、低学年では自己肯定感自体の認識が難しいのではないか。</li> <li>○アンケート項目を見るとこんなにいい子でいなければいけないのかと思ってしまう。もっと絞ってもいいのではないかと思う。あいさつ、などは家庭にゆだねる視点を持っていいのでは。学期ごとに項目を絞るなど。やっていることはいいこととわかるが全人的教育を意識しすぎていない実感がある。</li> <li>○自分は役に立っているか、といった認識、授業では「あなたのいいところ探し」「ふわふわ言葉」など取り組まれている。自然とできている。そういったことが知られていないのは残念。心の問題の事件が多いのと、それを言葉にできない児童がいるのが課題。人間力を重要視して育てられているのを感じる。人間としての基本を学ぶことを大切にしておられる。</li> <li>○インターネットの回答にしては回答率が低い。もっと高いといい。記名式を気にする方もいるのではないか。</li> <li>○心の教育という視点では、コロナ禍で勉強を遅らせないようにしなければいけない、校長先生の「無理をしない」というわれるところは大切と思う。心を大事にするところをさらに力を入れてほしい。親の世代が自己肯定感を育てていない結果もあると思う。その中で子供が育ってしまう。もっと「いいところはここだよ」と語ってあげたい。</li> </ul>
			問題解決的な学習の重視	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は◎である。保護者の評価が▼である。	学校の取組を更にわかりやすく伝える必要がある。	
			基礎学力の定着	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童及び保護者の評価は○である。	今後も継続して更なる充実をめざす。	
			二小スタンダードに基づく学習習慣の確立	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	◎	児童及び保護者の評価は◎である。	新しい生活様式を含めて定着している。	
あたたかく	健康な心身と豊かな情操・心情を育む学校	②夢の素材を育むキャリア教育	二松タイムを中心としたキャリア教育の充実	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は◎である。保護者の評価は●である。	コロナ禍であっても保護者に分かりやすく伝えていく。	
			自己肯定感を育てる指導の充実	児童及び保護者対象アンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は◎である。保護者の評価が▼である。	保護者の理解を得るために、学校の取組を分かりやすく伝える。	
あたたかく	健康な心身と豊かな情操・心情を育む学校	①心を育てる	体罰の根絶	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	◎	体罰調査では該当はなく、保護者の評価も◎であった。	サービスの徹底と丁寧な聞き取りを継続していく。	
			いじめの根絶	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は○保護者の評価は◎である。	いじめの早期発見、丁寧な未然防止に努める。	
			二小スタンダードに基づく生活指導の徹底	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	◎	児童及び保護者の評価は◎である。	学習のスタンダードも作成する。	
			豊かな環境を活用した心を育む教育活動の推進	保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	保護者の評価は○である。	更に充実を図り、今後とも活用、維持に努める。	
あたたかく	健康な心身と豊かな情操・心情を育む学校	②合理的な配慮に基づくインクルーシブ教育の推進	校内体制の充実	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は◎であるが保護者からの評価は○であった。	保護者の理解が得られるようになった。継続したい。	
			合理的な配慮に基づく教育を推進	児童及び保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	児童の評価は◎であるが保護者からの評価は○であった。	保護者の理解が得られるようになった。継続したい。	
つよく	健康な心身と豊かな情操・心情を育む学校	①体力づくり健康づくり	体育・健康に関する指導の充実	保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	◎	保護者の評価は◎である。	更に充実を図り、今後とも活用、維持に努める。	
			保護者、地域と連携した安全教育の推進	保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上	—	○	保護者の評価は○である。	更に充実を図り、今後とも活用、維持に努める。	
			保護者と連携した情報モラル教育	保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上		○	児童及び保護者の評価は○である。	保護者への理解が図られ、家庭の協力が得られるようになった。	
			学校便りやホームページを活用した情報発信	保護者対象のアンケートによる肯定的な評価の割合が80%以上		◎	保護者の評価は◎である。	更に充実を図り、今後とも活用、維持に努める。	

到達の指標 A 児童90%・保護者85%以上◎ B 80%以上○ C 80%未満▼